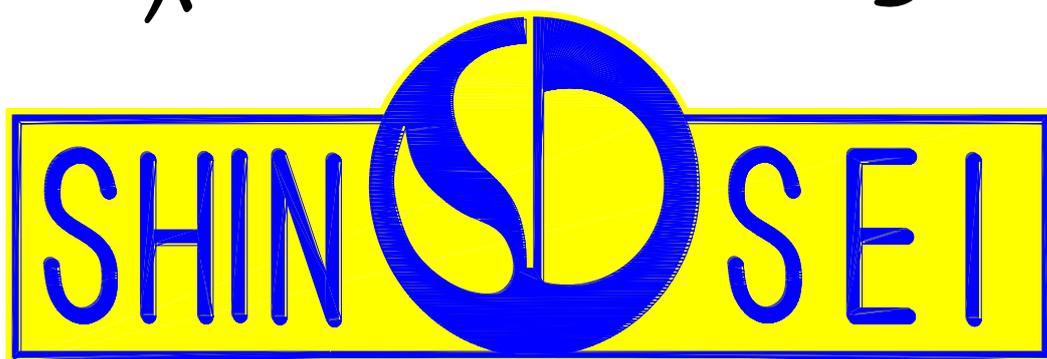


# 環境経営レポート2022

( 活動期間 2022年6月～2023年5月 )

未来に残す環境創り



新盛土木 株式会社

発行日 2023年9月20日

# I . 組織概要

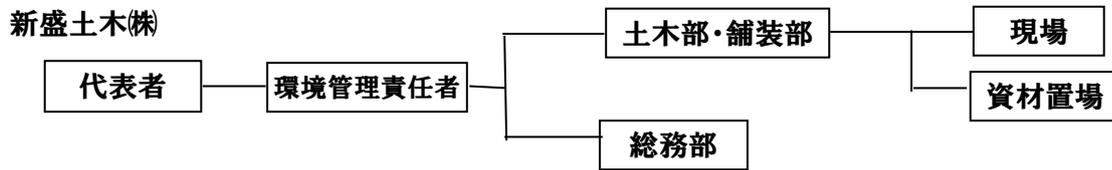
作成日2023年9月20日

- 対象事業所名 新盛土木 株式会社
- 代表者名 代表取締役 塚原 直子
- 所在地及び対象範囲
  - 本社 兵庫県加西市北条町黒駒121番地
  - 資材倉庫 兵庫県加西市北条町黒駒58-9,59-9,60-9
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 9人
- 床面積
  - 本社 300㎡
  - 資材倉庫 5000㎡
- 対象活動 土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業
- 建設業許可番号 建設業許可日：令和3年8月30日  
知事 特-3 第551848号  
令和3年8月30日～令和8年8月30日
- 創立年 1970年 塚原組  
1988年 新盛土木(株)として改組  
(創業より55年)
- 事業年度 6月1日～翌年5月31日
- 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
  - 責任者 代表取締役 塚原 直子
  - 担当者 総務部 村岡 茉樹
  - 連絡先 TEL:0790-42-2791  
FAX:0790-42-5557

## Ⅱ. 組織図と実施体制

作成日：2020年3月10日

### 組織図



### 実施体制

代表者	環境方針の設定 環境目標設定指示、環境活動レポートの承認、評価と見直し 環境管理者を任命 環境関連法規の重要性社内周知 資源の提供 協力会社の選定に責任をもつ
環境管理責任者	環境活動に必要なプロセスの確立、実施及び維持 継続的改善、是正処置及び予防処理に関する責任 外部からの苦情等受付、報告 社内連絡の調整及び運用管理 環境関連文書、記録の管理
総務部	外部からの苦情等受付、報告 環境関連文書、記録の作成
土木部長	自部門の取組に関する、環境に関する責任を持つ
全社員	環境方針、目標、活動計画を理解し取り組む

## Ⅲ. 環境経営方針

新盛土木株式会社は、建設業において地球環境と事業活動が共存であることを認識し、全従業員が自主的・積極的に環境への負荷を減らす取組に努め、経営における課題とチャンス定期的に明確化するとともに、それらの活動を継続的に改善するため以下の方針に基づき環境活動を推進します。

○環境負荷削減のために以下のことについて取り組みます。

- ・事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減(電力、建設機械等の燃料)
- ・廃棄物の削減、分別及び再資源化(アスコン、木材、ガラ等)及び3Rの推進
- ・事業活動周辺の掃除、美化の啓発活動
- ・水資源の節水
- ・環境に配慮した事業活動の推進(工程・安全・品質管理の強化等)

○当社の事業活動に係わる環境関連法規則及びその他の要求事項を遵守します。

○環境方針を全従業員に周知させ、環境負荷削減活動を積極的に行い、社外へも公開します。

### 重点分野

改定日： 2020年3月10日

制定日： 2016年4月4日

新盛土木株式会社

代表取締役 塚原 直子

## IV. 3年間の実績推移

作成日 2023年9月20日

項目	2020年	2021年	2022年
水使用量 (m <sup>3</sup> )	64.0	62.4	60.0
産業廃棄物 (t)	211.45	361.21	380.93
二酸化炭素 (kg-CO <sub>2</sub> )	74,013.83	68,871.11	67,020.04

排出量係数は関西電力を使用  
(0.318kg-CO<sub>2</sub>/kwh(2019年))

V. 環境経営目標・環境経営計画の取組状況・評価・目標、次年度の取組内容

作成日 2023年9月20日

事業所

評価基準 ○:達成 △:未だ不十分 ×:未達成

項目	環境活動計画	スケジュール	担当者	2021年 基準値		2022年度				取組評価	2023年の目標値・取組		2024年の目標値・取組		
						6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月						
電力使用量(kWh)	・ unnecessary 照明的消灯 ・ エアコン 温度の最適化 (冷房:27℃、暖房:21℃) ・ クールビズ、ウォームビズ実施	常時実施 12月～2月、7月～9月 常時実施	総務部	5,533	実績	1,486	1,042	1,697	976	5,201	5,201	エアコンの使用は最低限に抑え、照明も仕事に差し支えなければ消灯するよう試みる。	5,146	"	
						目標	1,375	1,375	1,375	1,375					5,500
						評価	×	○	×	○					○
ガソリン使用量(l)	・ アイドリングストップ実施 ・ 急加速、急発進の禁止 ・ エアコン使用期間の設定	常時実施 常時実施 12月～2月、7月～9月	土木部 舗装部	8,130	実績	2,102	1,901	2,061	1,864	7,928	7,642	従業員に対し運転の際、気をつけるよう指示する。	7,561	オイル交換が適切に行われているか定期的に確認する。	
						目標	2,000	2,000	2,000	2,000					8,000
						評価	×	○	×	○					○
水使用量(m <sup>3</sup> )	・ 節水 ・ こまめな止水	常時実施 常時実施	総務部	62.4	実績	15.0	15.0	15.0	15.0	60.0	59	今後も従業員に指示し、節水していく。	58	"	
						目標	15.5	15.5	15.5	15.5					62
						評価	○	○	○	○					○
掃除、美化の啓発活動	・ 身の回りの清掃、書類や文具の整理	常時実施 (必ず月に一度はすること)	全社員	-	実績	3	3	3	3	12	12	清掃し身の回りを整理し手持ちの文具を把握することで無駄な購入を抑制する。	12	同左	
						目標	3	3	3	3					12
						評価	○	○	○	○					○
一般廃棄物(kg)	・ コピー用紙、段ボール、新聞紙、雑誌等は幾度、有機物として業者へ引き渡している。	常時	土木部 舗装部	基準値	実績	0.9	1.2	1.2	1.2	4.5	6	随時回収ボックスへ持って行く。	6	随時回収ボックスへ持って行く。	
				2021年	目標	1.5	1.5	1.5	1.5	6					
				6.2	評価	○	○	○	○	○					
環境に配慮した工事の推進(%)	材料の過発注に伴う産業廃棄物の発生抑制 ※1	必要都度	土木部 舗装部	基準値	実績	14	15	13	16	15	15	適切な数量計算をし間違えないよう発注する。	105	同左	
				2022年	目標	20	20	20	20	20					
				-	評価	○	○	○	○	○					

項目	単位	スケジュール	担当者	2021年 基準値		2022年度				取組評価	2022年の目標値・取組		2023年の目標値・取組		
						6月～8月	9月～11月	12月～2月	3月～5月						
建設機械燃料使用量( )	・ アイドリングストップ実施 ・ 急加速、急発進の禁止 ・ エアコン使用期間の設定	常時実施 常時実施 12月～2月、7月～9月	土木部 舗装部	18,634	実績	4,399	4,470	4,792	4,536	18,197	17,516	従業員に対し運転の際、気をつけるよう指示する。目標値を見直す。	17,330	オイル交換が適切に行われているか定期的に確認する。	
						目標	4,500	4,500	4,500	4,500					18,000
						評価	○	○	×	×					×
産業廃棄物リサイクル率(%)	・ 作業時のミスによる廃棄物の削減 ・ リサイクル業者への依頼	常時実施 常時実施	土木部 舗装部	-	実績	98	97	99	99	98.0	96	無駄のないよう心掛ける。	96	"	
						目標	96	96	96	96					96
						評価	○	○	○	○					○

※ 毎年度目標1%削減

※ 化学物質は使用していないため目標に設定していません。

※ 灯油使用量は少ないため目標に設定していません。

※1 (過発注に伴うアスガラが2tを超える工事件数) × 100

総工事件数

目標20%以下

二酸化炭素排出量

排出量係数は関西電力を使用

基準値2021	68,871.11kg-CO2	(0.318kg-CO2/kwh(2019年))
実績値	67,020.04kg-CO2	
目標値	66,918.32kg-CO2	

## VI. 環境関連法規等の遵守状況のチェック結果

### ○当社に適用される主な環境関連法規等の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。

法律名・条例名	遵守すべき要求事項	遵守状況
廃棄物処理に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収集運搬、処分業者との適正な契約</li> <li>・処理、委託業者の許可証の有効期限の確認</li> <li>・マニフェスト伝票の管理、保管(5年間)</li> <li>・産業廃棄物の表示と保管基準の遵守</li> <li>・産業廃棄物管理票交付状況等報告書</li> </ul>	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定建設作業の届出</li> <li>・敷地境界線での規制基準85dB以下</li> </ul>	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定建設作業の届出</li> <li>・敷地境界線での規制基準75dB以下</li> </ul>	○
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・500万円以上の土木工事について再資源化等の促進、再資源の使用</li> <li>・発注者への書面による計画等の説明、工事を事前に都道府県知事へ7日までに届出し発注者へ完了報告</li> </ul>	○

遵守期日 2023/9/20

評価基準 ○:遵守できている ×:遵守できていない 該当なし:対象となる事項がなかった

### ○環境関連法規への違反、訴訟の有無

・過去3年間環境関連法規に関する違反、訴訟はありません。

### ○外部からの苦情受付結果

・外部からの苦情、関係当局からの違反等の指摘等は過去3年間ありません。

## VII. 代表者による全体評価と見直し・指示

代表者:塚原 直子

2023年 9月 20日

	項 目		確認:(必要に応じて評価・コメント記載)	記入	■代表者
					■環境管理責任者
1.見直し 関連情報	1	環境経営目標及び目標達成状況	8件中7件達成。		
	2	環境経営計画及び取り組み実施状況	実施している。		
	3	環境関連法要求一覧及び遵守状況	法律規制を遵守している。		
	4	外部コミュニケーション・対応記録 (苦情・要望)	苦情等は発生なし		
	5	問題点の是正・予防処置の実施状況	問題なし		
	6	その他(	特になし		
2.代表者 による全 体評価・ 見直し指 示	全体評価・コメント (環境経営システムの有効性、環 境への取組の適切性等)		これからも環境に優しい事業活動を引き続き見直していきたい。 現場が増えるにあたって、燃料、廃棄物等、連携し増加してしまうが、目標をしっ かり定め、できる限り節約し、環境のためにも、全社員が一丸となって気をつけ ていきたい。		
	見直し項目		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等	
	1	環境方針	無	該当なし	
	2	環境経営目標	無	該当なし	
	3	環境経営計画・取組項目	無	該当なし	
	4	環境に関する組織 (実施体制含む)	無	該当なし	
	5	その他のシステム要素	無	該当なし	
6	その他(外部への対応等)	無	該当なし		